

地域需要創出型・女性起業支援事業

背景

社会情勢の変化

- 生産年齢人口の減少
- GDPの減少
- 年金等社会保障費:増
- 税収・保険料収入:減
- 消費:低下
- 新たな働き手・担い手「女性」

堺市の創業支援の方向

「堺市産業振興アクションプラン」
「創業支援事業計画」(産業競争力強化法)

起業・創業を通じた新たな経済活動の担い手の創出は、消費や雇用の喚起、地域の活性化、持続的な競争力の維持・向上に必要なものとして支援策を講じ、支援目標数値を掲げている。

女性の起業における特色

※2014年版中小企業白書から抜粋

【男女比における女性の割合】

2012年:1979年以降

- ・起業希望者が最も多い
- ・起業家の割合が最も低い

【女性の起業分野の特色】

「地域維持・充実型」

「地域の個人向けサービス」 多い

- ・生活関連サービス業、娯楽業
- ・教育・学習支援業 等

【女性の起業準備者が直面する課題】

- ・「やりたいこと」の事業化の手法が分からない
- ・家庭生活との両立に不安
- ・相談相手がいない

その他、一般的な課題として、経営知識、専門知識、資金調達 等

【起業後の満足度】

- ・約6割が満足
- ・要因は「仕事のやりがい」
「生活(プライベート)との両立」
- ・家族との時間増、趣味・学習の時間増、ストレス減が4割

目的

- ・女性の開業率を高める → 地域需要創出型起業家づくり
- ・ロールモデル(お手本)をつくり、市内での女性の起業希望者の後押しを行う

事業内容

1. PR事業HP、冊子の作成 300万円

女性起業家のロールモデル(お手本)を周知し、起業を啓発。

開業者のPR

- ・ホームページ、冊子の作成

2. 経営支援 200万円

女性の持つ事業アイデアを具現化するため、主に仮想での起業体験をつうじた女性起業家育成

- ・啓発イベント・キックオフセミナーの開催:潜在する女性起業家を発掘
- ・体験ワークショップ型セミナーを実施し、起業にあたっての心構え、基本知識を学ぶ
(内容)資金の流れ、顧客のつかみ方(PR)、事業課題の抽出 等
- ・開業に直接結びつく事業計画作成支援 → プラン発表会、クラウドファンディングの実施等
- ・市内女性起業家ネットワークづくりのための情報交換会を実施。
- ・女性のための起業相談窓口設置

開業後は、S-CUBEの専門人材による支援、堺商工会議所の窓口相談、産業振興センターの経営支援制度をとおして、事業の継続性を高める。